光山だより

3月号
発　行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部
http://www.ozo.jp

活動の成果をふまえて前へ
パートナーシップ協定期間終了

大沢町地域事務局　乗井　幹雄

人口の減少・高齢化・休耕地の増加などの要因が重なって町の活性化が失われつつある現状をふまえて、地域の力を集めて課題の解決をはかるために、平成12年に「大沢町コンパクトタウン研究会」を発足させてさまざまな活動が進められてきました。この10年間の活動の成果をさらに次の段階へと進めていくために平成23年3月に神戸市と大沢町が「パートナーシップ協定」を締結しました。この協定の目的は、地域と神戸市が協働して「住みやすい・住んで良かった・住みつづけたい」まちづくりのための取り組みを進めていくことです。

この協定にもとづいて、みんなで取り組む活動計画を策定し、行動計画を実施していく中核組織として、平成24年4月に「大沢町地域事務局」が発足しました。行政のご指導とご支援をうけて、町を離れていく次代の担い手が町にとどまってもらう方策・年々減少する子どもたちの学びの環境をどのように守っていくのか・高齢化が進むこの町の公共交通の確保と存続…などの課題について各プロジェクトごとに活動が推進されました。都市との交流をはかるイベントなどを通じて多くの都市住民が大沢町を訪れて大沢町の魅力を発信できました。環境にやさしいブランド米「おおぞうそだち」や、イチゴ、たけのこ、ちぢみほうれん草の栽培など、大沢町のブランドづくりも着実に進んでいます。

3月17日の全体会議でのグループ討議や、アンケートの集計結果などもふまえて、今後多くの町民参加のまちづくり活動を進めていきたいと思っています。

26年4月1日から運営が変わります。入園は無料になりますが、駐車料金が必要になります。（1時間まで無料）

パークの農業振興では、いちごのウィルスフリー苗などのバイテク、果樹狩に加えて、新たにＩＴＣを利活用した施設園芸や植物工場、神戸らしい新しい品種の栽培実証、神戸の農漁業産品のセレクトショップなどの機能が順次拡充されます。

また、その他のアミューズ機能も継続され、来園された多くの方々に農業に親しんでいただけます。これらの管理運営は神戸みのりの公社が行います。

ホテルは、神戸市の公募で選定された株式会社シーエイチアイが引き続き運営を行います。

宿泊、宴会・お食事、会議、温泉などのサービスを提供します。また、バーベキュー、プールも営業しますので、ご利用ください。

株式会社神戸ワインの従業員も引き続き運営に携わりますので、これまでと同様にお気軽にお声掛けいただき、ご愛顧、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

大沢町出身戦没者
追悼慰霊祭
4月19日（土）
やすらぎの丘

えがお あいさつ ありがとう
青少協大沢支部

19日の青少協育成委員会では、感動した中学校の卒業式の話に始まり、学校園・児童館からは幼・小・中相互や他校園、地域との交流等も含めて、生き生きした子ども達の学校園生活の報告を受けました。

小規模校園ならではの先生方の取り組みに感謝申し上げます。

○合言葉「えがお　あいさつ　ありがとう」を心にとめて、地域でのあいさつの輪を広げていきましょう。

○携帯電話やスマートフォンを子どもに持たせる場合は必ず使い方について話し合いをしましょう。

○中学校給食（弁当）が、市内33校で先行実施されますが、大沢中学校は、今のところ27年秋頃の予定だそうです。

○「大沢っ子応援団」による下校時の安全パトロールを次年度も実施します。子ども達の登下校時の見守りよろしくお願いいたします。

（北本義利）

スポーツ情報

3／8 町民グラウンドゴルフ大会
フルーツフラワーパーク多目的広場

団体の部
優　勝　中大沢自治会チーム
準優勝　しあわせクラブAチーム
第3位　しあわせクラブBチーム

個人の部
優　勝　大釜　透さん（連絡所長）
準優勝　西山千秋さん（中大沢）
第3位　仲東　進さん（市原）

センテナリアンス賞
上田　栄一さん（上大沢）

3／15 五町ボウリング大会

団体の部
優　勝　大沢町
準優勝　道場町
第3位　八多町

個人の部
優　勝　大沢町：小池光雄
準優勝　大沢町：尾上正喜
第3位　八多町：松林道子

狂犬病予防接種
4月13日（日）

行事予定

3／28　新生児お祝いの会
3／29　自治連合会役委員会
4／1　やまびこ会定例会
4／3　光山だより編集委員会
4／9　小・中学校入学式
4／10　ふれあい昼食会
4／11　婦人会定例役員会
4／20　ヨガ教室（らぽ～と）
4／26　学校公開デー　ＰＴＡ歓送迎会
4／28　女性会学級（骨盤体操）

え：小西　ふゆ子

∞∞ 投 ∞∞ 句 ∞∞

町民の動き

おめでた
3／8　神付　東岡淳史さん
　　横山加奈さんと

おくやみ
2／26　中大沢　中西あさのさん　100歳
3／17日西原　山形重治さん　89歳

3／1 子ども銭太鼓 らぽーとと交流

幼稚園 そば打ち体験

自分で打ったそばは、特別においしかったです。

ちょっと手伝ってもらったけどちゃんと自分たちでそば打ちできました。

大沢町
地域事務局
掲示板

大沢町地域事務局全体会

さる3月17日（月）に今年度の地域事務局全体会を開きました。今回の全体会におけるテーマとしては、パートナーシップ協定の期間終了にあたり、締結後からの3年間に渡る活動を総括することを中心にすえた内容としました。とはいえ、今後においても大沢町における各種の取り組み活動は、基本的にも継続していかなければならない事であり、すべての活動が協定終了と同時に終わるわけではありません。大沢町では就学児童数の減少はもとより、高齢化率の上昇とともに居住町民数の減少傾向にも歯止めがかからなくなってきています。

これからは活動数を誇るのではなく、ピンポイントの取り組みに集約していくほうが良いのかもしれません。町民の皆さんに対しても、ただ単に参加するだけでなく、企画運営事案に対して全員が参画できるようなアイデアを広く募集いたします。

プロジェクト長会議

全体会にむけての最終調整の場として表記会議を3月7日に開催しました。、出席者間で意見をかわしながら、3年間に亘る活動を総括できるような発表が行えるよう、プロジェクト長毎に草案を作ることになりました。全体会当日は関係者アンケートから見える多くの課題や、今後の活動における取り組み方などを、参加者全員で検討するためワークショップ形式の場を企画、多くのみなさんから次のステップが提示されることを期待しようと意見がまとまりました。

ビジネスモデル研究会

今年も、新たな取り組みとして出されていた申請認可物件に対し、それぞれの取り組み報告書を精査して、最終的な助成金額を確定する会議を開催しました。2年間に渡る補助事業では加工品を含んだ累計19人（26事業）が対象となり、厳密な審査が行われました。今後は、これらの取り組みが一過性に終わることなく、継続した管理運営と作業により、各自が安定した農業収益を確保できるように努めていっていただきたいと思います。

事務局としては、26年度以降も同様の補助事業ができるような、新たな助成金制度への申請など、今後も引き続き取り組まなければならないと考えています。

都市との交流

各地区自治会の方々には大変お世話かけましたが、啓蒙活動の看板設置も町内各地で良く見かけられるようになり、地域での環境保護活動が推進されている様子がみてとれます。それ以外では、地域の景勝地である「光山寺」への案内看板の設置が、学校園前を含めて順次実施されています。

おいしい大沢産

大沢町のブランド米として商標登録した「おおぞうそだち」は、昨年70袋以上の収穫となり、現時点で8割ほどが販売済の状況です。昨年度からのリピーターも多くあり、今後にむけての明るい兆しが見えてきたようです。付加価値が高く収益性に優れた「おおぞうそだち」の取り組み農家が増加することを望みます。

いちご品種「神戸1号」においては、生産農家数の拡大と安定した収穫量の確保にも取り組み、ケーキなどの加工品向けとして将来性が見込めるようになってきました。

住宅関連事業

以前にお伝えしていましたが、地域事務局の拠点にしたいと考えていた物件が、その後の調整がつかず、代替案として町内で活動しているＮＰＯ団体の拠点として利用いただくことになりました。現在急ピッチで内部改装中ですが、４月上旬にはなんとかスタートできる見込みです。

卒業おめでとう

66回生　5人のみなさん
ご卒業おめでとうございます

君たち5人は、多くの苦楽をともにしながら立派に成長し、3月11日に大沢校を巣立っていきました。あのすばらしい卒業式は、私にとって、一生忘れられない一日となりました。きっと、君たちにとってもそうでしょう。この3年間、君たちと同じ時を過ごし、ともに成長できたこと、感謝します。ほんとうにありがとう。君たちは、大沢中の1401番から、1405番の卒業生です。66年間の歴史の重みを感じます。

思い返せばこの3年間、日々の教室での授業のほかに、どれだけの所へ出かけて行ったのでしょうか。入学してすぐの地域学習に始まり、最後はＦＦＰでの結婚式場の見学とフランス料理。なんと、世界三大珍味を一日で制覇！そして何と言っても東京・鎌倉方面への修学旅行。鎌倉の大仏で、日本三大大仏も制覇しましたね。

君たち5人は、担任の坂井先生の指導の下、「5人もいる！」を合言葉に、いろいろなことにチャレンジし、そして立派に成功させてきました。ほんとうにご苦労様。優しくて人間味あふれる君たち5人に栄光あれと祈ります。

大沢中　乾　浩和

防犯・安全
パトロールを実施
大沢っ子応援団
運営委員会

「大沢っ子応援団」が設置されて3年目の事業年度が終了しようとしています。去る3月13日に本年度第2回運営委員会を開催して事業報告と、次年度の事業計画について話し合いました。

本年度は、子どもたちの下校時に合わせて、通学路や施設の点検と不審者（車）の発見などを目的として、4月から10月まで（8月を除く）毎月2回、安全パトロールを実施してきました。この実績をふまえまして、次年度は年間を通して実施することを中心とした事業計画を決定しました。

本の読み聞かせや、昔の遊び、学校周辺の清掃、登下校時の見守りなど、「できる人が、できる時にできることから」を基本に応援の輪を広げていきたいと願っています。町民の皆様が応援団の1人として子どもたちの健やかな成長を応援していただくことをお願いします。

（乗井幹雄）

春の林野火災訓練

3月22日（土）に北消防大沢支団と北消防署北神分署合同で、春の林野火災訓練を行いました。上大沢善入地区内の池鍋池付近を火点として、九十池から池鍋池堰堤付近までの500メートル、高低差33メートルをホース延長し、小型動力ポンプ7台（内1台は元ポンプで署のポンプ車と交互に訓練）による中継訓練を行いました。訓練開始合図と共に各分団は、素早く持ち場につき、ホース延長完了、ポンプ始動、放水準備完了、放水はじめの合図と共にいざ放水ですが、なかなか筒先から水が出ません。途中でホースの接続不良です。接続完了後、再度放水開始。やっと筒先から勢いよく水が出ました。ひと安心です。無線による連携が功を奏しました。高低差や延長距離のある林野火災では、筒先から必要量の放水をするために、資機材の取り扱いやポンプの圧力調整等が非常に難しいことがわかりました。この訓練の成果をもとに、今後いっそう消防団活動に奮闘・努力してまいりたいと思います。

大沢支団広報担当　岡　伸元